

令和5年度大豆生育定期調査結果 No.2 (北上市 8月4日現在 生育・開花)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 水田利用研究室 (TEL:0197-68-4412、FAX:0197-71-1081)

1 生育概況 (表1、図1)

(1) 生育

高温傾向で経過したため生育は3品種とも旺盛で、平年に比べ、主茎長は13.1~18.7cm長く、主茎節数は0.6~1.1節多く、分枝数は0.1~1.0多くなっている。さらに、葉面積指数は平年より0.736~1.566高く、地上部乾物重は平年比155~160%重く、平年を大きく上回っている。開花期は平年より3~5日早くなった。

表1 8月4日現在の生育調査結果 (播種日: 6月6日)

品種	年次	開花	主茎	主茎	分枝	葉面積	地上部
		期	長	節数	数	指数 ^{*2}	乾物重
		(日)	(cm)	(節)	(本/枝)	(L A I)	(g/m ²)
リュウ	R 5年	7/26	60.4	14.8	4.7	4.137	301.5
	平年 ^{*1}	7/29	47.3	13.8	3.7	3.032	191.0
ハウ	平年差・比	-3	+13.1	+1.0	+1.0	+1.105	158%
	(参考)R 4年	7/27	68.1	16.1	4.5	5.772	343.4
シュウ	R 5年	7/27	64.1	15.4	3.8	5.475	366.4
	平年 ^{*1}	8/1	45.4	14.3	3.5	3.909	228.9
リュウ	平年差・比	-5	+18.7	+1.1	+0.3	+1.566	160%
	(参考)R 4年	7/28	64.8	16.1	3.9	6.319	351.7
ナンブ	R 5年	7/23	69.5	15.0	4.7	3.952	324.9
	平年 ^{*1}	7/27	52.8	14.4	4.6	3.216	209.3
シロメ	平年差・比	-4	+16.7	+0.6	+0.1	+0.736	155%
	(参考)R 4年	7/26	76.8	16.2	5.0	5.727	355.3

*1: 「平年」は平成30年~令和4年の平均値。

*2: 葉面積指数はある栽培面積に存在する葉の総面積をその土地面積で割ったもの。



図1 各品種の生育状況 (8月4日撮影)

左からリュウハウ、シュウリュウ、ナンブシロメの順。

2 気象経過（7月～8月第1半旬；図2）

気温は、7月第4半旬を除いて、過去5か年の平均値（以下、「平年」と表記）より高く経過した。日照時間は、7月第2～4半旬で平年を下回ったが、以後は平年を大きく上回った。降水量は、7月中旬は平年を上回ったが、以後は降雨がなく、干ばつ傾向となった。

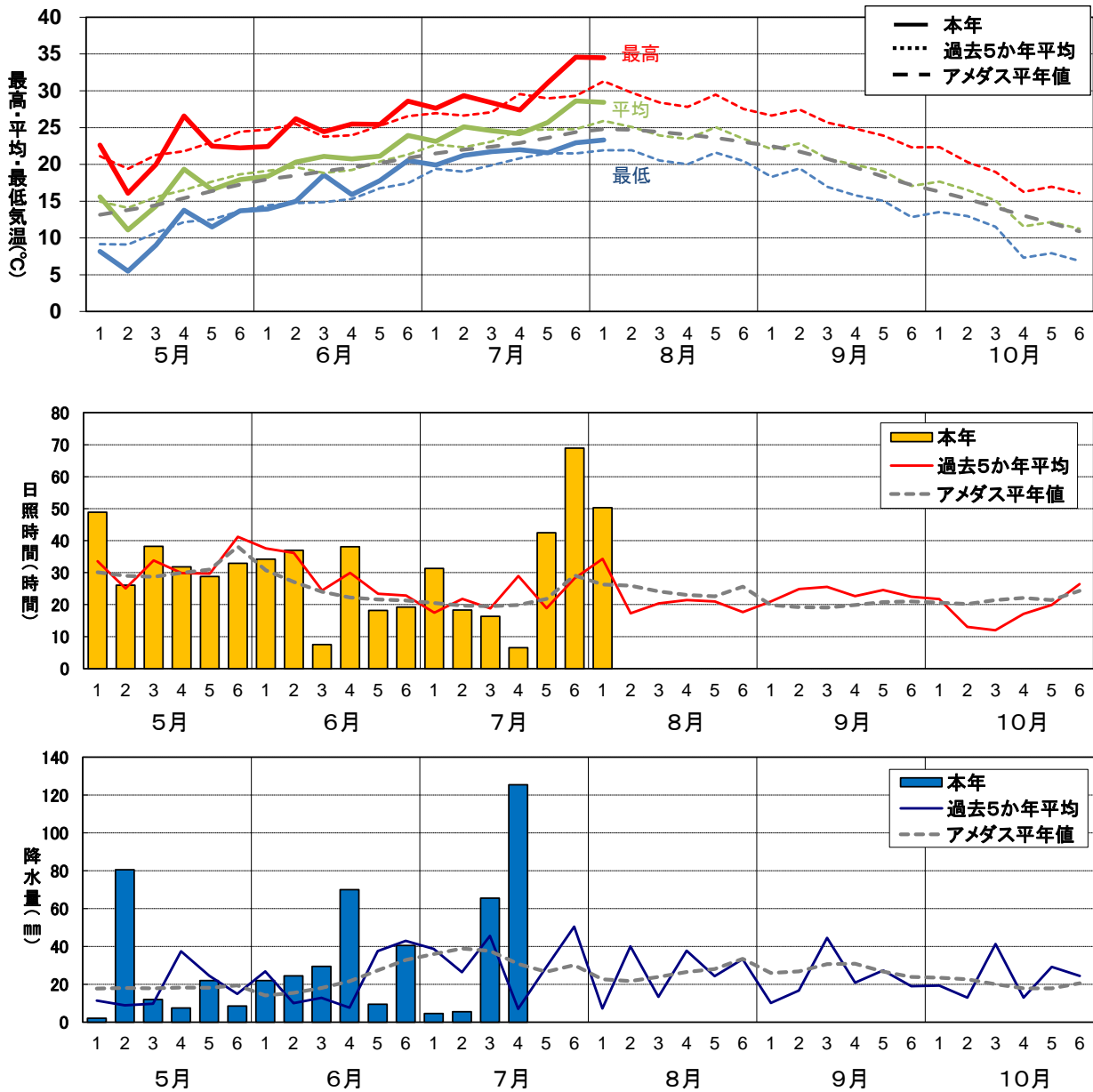


図2 気象経過図（アメダス北上、8月4日現在）

※1：「過去5か年平均」は平成30～令和4年の5か年の平均値。

※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30か年平均。

3 耕種概要

- (1) 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m 淡色多湿黒ボク土（水田転換2年目）
- (2) 播種日：6月6日
- (3) 栽植密度：9.52株/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
- (4) 施肥量（kg/10a）：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥 1000
- (5) 雑草防除：エコトップP乳剤 600mL/10a（播種後出芽前）
- (6) 中耕・培土：1回（7月5日）
- (7) 病虫害防除：クルーザーMAXX 8mL/乾燥種子1kg（播種前塗沫処理）
 プロポーズ顆粒水和剤+トレボン乳剤（7月10日）
 リドミルゴールドMZ+スミチオン乳剤（7月26日）
 プロポーズ顆粒水和剤+トレボン乳剤（8月4日）